

グレートリセットの時代に 漂流する日本

令和4年1月18日 森田晃司

1. 漂流する日本、目的地はあるのか

米中対立、中国の軍事膨張、武漢発のウイルス騒動、監視社会への邁進、エネルギーの高騰、食糧危機の兆しなど、世界は危険な兆候を随所に覗かせている。

その上、米中の両大国自身が内部に深刻な矛盾を抱え、熾烈な権力闘争、あるいは国家の分断の危機を孕んでいる。

この二百年、実質的に世界を支配してきたともいわれる国際金融資本は、2021年のダボス会議のテーマを”グレートリセット”に設定し、従来の社会体制や価値観の根本的な転換をおこなっている。

世界は激変の様相を色濃くしている。

そんな中で、日本はどこに向かおうとしているのか。行方を定めて前進しているのか、それとも、たださ迷い、漂流しているのか？

目的地はあるが、直進できずに漂流しているのか、
目的地を見失っているのか、
目的地へ向かう意欲をすでに失っているのか、

日本はどこに向かっているのか、
国家の方針、向かうべき方向が全く見えないのが現状か？

2. 地政学上の立ち位置

米中は政治・軍事面の対立を先鋭化させているが、五輪外交ボイコットに見るように、狭間にある日本は曖昧な対応を続けている。

両国の対立が一段と先鋭化した場合、あるいは、本格的に経済に及んだ時には、どんな対応をするつもりか？

その時に備えた準備は進んでいるのか。

3. 経済不況を招いた緊縮財政をいつまで続けるのか。

30年間、経済の停滞が続いている。GDPは伸びず、賃金はむしろ低下している。一人当たりのGDPはかつてのトップクラスから、今や30位近くまで後退している。

日本型経営の解体と緊縮財政という政策の失敗が長期のデフレを招いたとも指摘さ

れているが、この政策を続けるのか？

日本人勤労者の賃金を抑え、外国資本家に高配当を出し続けるのか、
米中を始めとする外国資本に不動産、企業を買いあさられているのは放置するのか、
岸田政権の新しい資本主義とは何か。総裁選で述べた所得倍増計画は、早くも断念した
のか？

4. 安全保障

未だに日米安保頼みで、米軍が日本各地に駐留している。(日本の対米反攻を抑える
のが、真の駐留目的ともいわれる)

主要な軍備は国産を許さず、米国より言い値で買わされている。

核武装は許してもらえない。

日本の領土、領空、領海を部分的にせよ米軍に占有され、駐留経費まで払っている現状
をいつまで続けるのか。

尖閣は放棄するのか、

日本人は、尖閣への上陸はおろか、近くの海域に行くことも許されない、上空を飛行
することも許されず、年々中国の実質領有へ進んでいる。

日本国民の生命・財産、領土を守り抜く覚悟はどこにあるのか。

経済の安全保障は追及するのか、

サプライチェーンの国内回帰は追及するのか、

経済の中国依存を続けるのか。

5. エネルギーの確保

エネルギーは生活と産業の基本だが、資源の乏しい日本として、エネルギーの安定確
保に向けた国家の方針はあるのか。

脱炭素を本気でやるのか、

(EU は既に原発と LNG はクリーンエネルギーと云いだしている)。

再生エネルギーに見通しはあるのか、

石炭は放棄するのか、

石化燃料の中東依存は増しているが、シーレーンの安全は確保できるのか、

原発の再稼働はないのか (4 5 基中、9 基稼働中)

原発の新規開発はやめるのか、

安全性が格段に高いと期待される小型原発もやめるのか、

核融合もやめるのか。日米共同なら進めるのか、
日本は蓄積してきた核技術を放棄するのか、
今冬の電力需給は逼迫が予想されている。

6. 食糧危機

生命維持に直結する穀物は戦略物資だが、40%以下の食料自給率は放置するのか、
食料輸出を推進しているが、後進国型農業に向かうのか、
種子法を形骸化し、日本市場をグローバル企業に明け渡すのか、
日本市場をグローバル企業の遺伝子食物の実験場にするのか、

7. 憲法改正

日本国民は、現憲法草案作成の過程の黙認を続けるのか、
自主憲法設立への意欲と覚悟はあるのか、
改正の是非につき、自由な議論は許されないのか、

8. ウイルス騒動への対応

COVIT-19をいつまで特別扱いするのか、2類への分類を続けるのか、
収束へ向けてのプランはあるのか、

監視社会への加速は容認するのか、
一つの世界への加速は止められるのか。

9. 皇統の維持

男系男子の伝統は維持できるのか、(有識者会議の最終報告)
皇室の藩屏は復活できるのか、
機能しない宮内庁は現状でよいのか。

10. 目的地はどこか

2022年はサンフランシスコ条約で独立を回復してから50年の節目。
日本の現状は、果たして真の独立国と云えるのか、
あるべき姿に向かって、50年間歩んできているのか、後退を続けているのか。

日本の歴史と伝統文化は誰が守るのか、
村や町や会社の中にもあった共同体意識は消え去るのか、
グローバリズムに浸食され、日本文化は消えゆくのか、

米中の影響下で身動きできないまま、外資に蚕食される現代日本は、西洋列強による植民地化の危機にさらされた幕末日本を想起させないか。

以上